

東京フィルハーモニー交響楽団首席指揮者 アンドレア・バッティストーニ メッセージ

こんにちは、親愛なる音楽好きの皆さま。9月の公演で東京フィルを再び指揮するのをとても楽しみにしています。

今回、特別なプログラムで演奏するのは、マーラーの偉大な名作である交響曲第5番です。今の時代、ことさら大きな意味を持つ交響曲だと思われる「暗闇」、「絶望」の中から「光」、「希望」、「新たな生命」に至る旅を描いたものです。

この特殊な時代を生きる私達は、マーラーのエネルギーを必要としており「再生」は私達にとって大きな関心事です。

もう1曲、ことに楽しみにしているのは、私が編曲し初めて演奏するリストのピアノ曲『巡礼の年』第2年「イタリア」より「ダンテを読んで」。地獄から天国の高みへのダンテの旅を描いた曲です。

この曲にはいつも魅了されてきたのですが、ピアニストではない私にはうまく演奏できないので、交響的作品に編曲しました。この有名なピアノの名曲が新たな衣装、新たな色彩を得て、才能溢れる東京フィル楽団員の演奏で皆様に楽しんでいただけることを願っています。

またすぐにお目にかかりましょう。